

平成30年
(NO-4)

里 山

龍ヶ崎・里山の会
30. 11. 10.



■大切な里山

里山は、人、植物、野鳥、小動物等の生き物が協力して、生活してきた場所で、縄文・弥生時代から継続しております。

「里山」を構成している基本的な要素は、湖沼、森林、田畑であります。

その中の森林（雑木林）は、生物の住処、食べ物の供給として重要な役割をはたしております。健全な森林であるためには、常に森林の手入れをし整備が必要です。未整備の状態では、荒れてた森林になり、役割を果たさなくなってしまうます。

■高校生による保全活動（龍ヶ崎・第2高校）

当会は、月1回のペースで、森林の保全と我々の健康のために保全活動を行っております。その中で、年に3回ほど、龍ヶ崎第2高校の生徒会が中心となって、若い生徒さん達による保全作業が行われております。早いもので、平成25年から開始され5年ほど継続しており、活動回数は、15回ほどになり、めざましい活躍をしております。実施状況は、次の通りです。

- ・実施日・時間 だいたい土曜日の午後で、13時から15時までの2時間
- ・年間の回数 年3回ほど行い、5月、7月、11月ごろ
- ・保全地域 蛇沼の周辺の雑木林（1万5000坪ほど）
- ・参加者 高校生、市民 20～30名/回
- ・作業 間伐、倒木の整理、枝・ツル等の剪定、枯れ木の整理
- ・ご支援の先生 中島俊夫、宮本脩平、藤井辰樹 先生（龍ヶ崎第2高校）

生徒さん達は、もくもくと作業をし、汗まみれになって雑木林の手入れを行っております。整備後は、なぜか樹木が生き生きと感じられます。

■森林の保全ポイント

健康な森林を維持するためには、光、水、養分（土）が必要です。樹木、野草等は、二酸化炭素、光、そして水とで光合成を行い、糖類をつくり成長を維持しております。そのなかで、一番大切に注意しなければならないのは、光（太陽光）であります。

- 間伐、剪定を行い、林床、表土には出来るだけ太陽の光を与える。
- 林床、表土は、長時間をかけて形成されたもので大切に保護する。
- 樹木間に、鳥、昆虫等が飛来できる空間を設ける。
- 定期的に、環境、地形、植生等の状況を観察し、記録する。
- 保全・整備は、観察をし、状況をみながら行う。
- 森林の保全は、定期的、継続して（間伐、枝打ち・剪定等）行う。



30cmの丸太を切る
女子高校生たち
驚きです！！

保全作業

- 保全対象地域の現地調査
- 実施計画の作成、機材等の準備をする
- 森林内の下草刈りを行う
- 保全作業（間伐、枝打ち等）の実施
- 林床、野草の手入れ
- 結果をレビューし、記録に残す

倒木を整理する作業



■用語

- 間伐
樹木の密集を防ぐため
立木の間引きをする
- 枝打ち
無駄な枝を幹より切り
落とす
- 林床
森林の地表面